

地域交流プログラム「カオヨセ」ご取材のお願いと

水中めがね∞ + 水戸芸術館プロデュースダンス公演 『Re:public／しき』上演のお知らせ

水戸芸術館 ACM 劇場では、「カオヨセ - つくる人とお茶会 -」と題した地域交流プログラムを実施します。「顔寄せ」とは、舞台を作るときにスタッフ・出演者が初めて集まることを指す舞台用語です。水戸で舞台を作り上げるプロデュース公演だからこそ実現できる、専門家の方と地域の幅広い年齢層の参加者との交流の場として、全 3 回にわたり実施します。

第一回目は、ダンスカンパニー「水中めがね∞」より根本紳平さん（水戸市出身）を迎え、2 月に行う公演『Re:public／しき』の上演に先駆けた、「ダンス公演を鑑賞する際のヒント」を中心にお届けします。

つきましては、ぜひ貴媒体にてご取材くださいますようお願い申し上げます。

地域交流プログラム

「カオヨセ - つくる人とお茶会 -」 根本紳平さんとお茶会

【日時】12/19 (金) 10:30～12:00

【会場】水戸芸術館ラウンジ・サザコーヒー

【聞く人】塩谷 亮(劇団 ACM)

【料金】1,000 円(ドリンク付)

【対象】高校生以上

【定員】20 名程度



根本紳平 プロフィール

茨城県水戸市出身。桜美林大学にて木佐貫邦子に師事。コンテンポラリーダンスを学ぶ。卒業後、ダンサー・振付家として活動。ダンスカンパニー「水中めがね∞」のメンバー。舞台だけでなく様々なアーティストの MV 映像作品の振付を行う。2021 年 NHK 紅白歌合戦オープニングのダンスを担当した

水中めがね∞ プロフィール

振付家・ダンサー・ビジュアルデザイナーなどが集まって 2011 年に結成されたコンテンポラリーなダンスカンパニー。メンバーは各自の活動基盤を持ち、それぞれの自律的なクリエイティビティの交錯によって団体の活動を展開。現在は舞台・映像作品の企画制作と、MV の振付などクライアントワークを並行して行う。「人間社会におけるダンスの在り方・在り方を模索し開拓する」を目標に掲げ、活動中。



水中めがね∞
根本紳平(写真中央)
photo:masataka kougo

水中めがね∞ + 水戸芸術館 プロデュースダンス公演

『Re:public／しき』

本公演は、水中めがね∞初となる市民参加型作品、「Re:public」と、レパートリー作品「しき」の 2 本立てで構成されます。

「Re:public」では、ダンス経験不問で集まった、年齢も立場もさまざまな 15 名の市民（12 歳～ 45 歳）が、根本紳平とのクリエーション期間を経て舞台に臨みます。

「しき」は、バレエと日本舞踊をルーツに持つメンバー、中川絢音が手がける作品。

水中めがね∞が持つ異なる魅力を一度に楽しむことができる本公演に、ぜひご期待ください。

<公演概要>

水中めがね∞ + 水戸芸術館プロデュースダンス公演

『Re:public／しき』

【日時】2/7(土)16:00開演、8日(日)14:00開演

【会場】水戸芸術館 ACM 劇場

【料金】全席指定／一般 4,000 円

25 歳以下 2,500 円、高校生以下 1,000 円

【チケット取扱い】水戸芸術館(9:30～18:00/月曜休館)

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

【電話】チケット予約センター TEL：029-225-3555

【Web】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>



【ご取材お申込み・お問合せ】

水戸芸術館 広報係(担当：山本、竹之内) TEL：029-227-8111 E-mail：kouhou@arttowermito.or.jp